

【評価対象年度 2021年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市鶴川緑の交流館ホール等		
施設概要	【所在地】町田市能ヶ谷1-2-1 【開設年月】2012年 【開館日時】第1・3月曜日と年末年始を除く午前8時30分から午後10時まで 【建物面積】5979㎡ 【建物内容】鶴川駅前連絡所、鶴川駅前図書館を含む複合型施設。 300席のホール、多目的室、リハーサル室、会議室、練習室等を備える。 【建物構造】鉄筋コンクリート 地上3階地下2階建		
設置目的	市民の芸術文化の創造活動及び地域的な共同活動その他の市民活動の推進を図り、もって魅力ある地域社会づくりに寄与するため。 (町田市鶴川緑の交流館条例第1条より)		
設置根拠法令・条例	町田市鶴川緑の交流館条例		
所管部課	文化スポーツ振興部 文化振興課	問合せ先	042-724-2184
施設ホームページURL	https://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/		

(2)指定管理者

指定管理者名	一般財団法人町田市文化・国際交流財団、和光産業株式会社 ＜町田市鶴川緑の交流館指定管理業務共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	＜代表団体 一般財団法人町田市文化・国際交流財団＞町田市森野2-2-36		
指定期間	2017年4月1日～2022年3月31日		
指定管理業務の内容	・ホール等の施設及び附属設備の貸出し。 ・市民の芸術文化の向上のため、文化事業を市民が主催あるいは参加する機会を提供する。また、音楽公演、古典芸能などの文化事業を実施し、市民に提供する。 ・ホール等の各種点検業務を行い、維持管理を行う。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
文化を通じた「夢のあるまちづくり」の推進 (バランスの取れた多種多様な事業の発信)	2022年3月	主催事業を20事業、共催事業を16事業、市民参加型事業を13事業実施した。
地域に根差し地域に貢献する運営の推進	2022年3月	地域の保育園、小中学校、大学等と連携した事業を6事業実施した。
「芸術文化の創造活動や生涯学習を促進する交流拠点」の実現	2022年3月	ホストタウン関連事業をはじめ、地域の文化団体と連携した事業を10事業以上実施した。

3. 昨年度の課題

内容	・相対的に利用率が低い諸室の利用促進を図るため、コロナ禍ならではの新たな需要や利用方法等をより詳しく分析した上で、PR方法等を工夫することが必要である。 ・施設の利用率を維持増加させるため、通信回線を活用した更なる取組やPRが必要である。 ・会計区分や収入の計上方法、請求書類の確認体制等に改善が必要である。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	新型コロナウイルス感染症の影響により、15事業を中止したものの、感染対策を徹底した上で、合計49の多様な事業を実施することができた。地域への貢献のため、また、芸術文化の創造活動や生涯学習を促進する交流拠点となるため、地域の学校や文化団体と連携した事業を積極的に実施した点も評価できる。 2020年度の課題のうち、「相対的に利用率が低い諸室の利用促進」については、プレイルームをリモートワークの会場として使用する等コロナ禍ならではの需要を得られたことで、すべての貸出諸室で利用率を改善することができた。今後は、そのような新たな需要や利用方法等をより詳しく分析した上でPR方法等を工夫し、諸室の特徴にあわせた様々な形での利用促進に繋がりたい。また、公演の配信等通信回線を活用した事業の実施や、ホームページ等を活用した新たな利用方法に関するPRを行い、ホールの利用率は88.4%という高い水準を達成した。優れた音響設備を活かし、音楽大学の入学試験やコンクール等に向けた演奏音源の録音・録画という新たな需要も獲得している。今後も利用率を維持増加させるために、通信回線を活用した更なる取組みの実施や、諸室と同様に新たな需要や利用方法等を詳しく分析した上でPR方法等を工夫し、様々な形での利用促進に繋がりたい。 今年度特に評価できる点としては、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、ホストタウン関連の事業に新たに取り組んだことが挙げられる。この事業を通して得られた指定管理者と関連団体や関連団体同士の繋がりを活かし、今後事業をさらに充実させられたい。 2020年度の会計検査モニタリングで指摘された、会計処理の不備等については改善された。今後も適正な会計処理が行われるよう、組織内での体制を整えられたい。	

【評価対象年度 2021年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、未だ施設の利用制限が続く中、ホール利用率は88%を超え、あらためて市民の文化への関心の高さを認識した。諸室はコロナ前の利用状況に戻りつつあるが、市民、企業、個人においてコロナ対策を理解し検討された上での、多種多様な利用となっている。配信利用等、新しい生活様式に則した「デジタル化」に柔軟に対応できる設備の整備・充実化が今後の課題であり、更なる利用率の促進に繋げたい。また昨年導入したクレジットカード支払は利用が多く、利便性が向上していると考えられる。コロナ対策としては、昨年度に引き続き、正面入口のサーマルカメラの利用やホール入館時の体温チェックの徹底、諸室等の消毒液設置、3密回避の環境整備など、利用者が安心して利用できる施設維持に努めた。</p> <p>地域協力としては、2年ぶりに町田市文化協会の「新春文化の集い」を開催し、多くの来場者を楽しんでいただいた。また、オリンピックのホストタウン関連企画では市役所や市民団体と協力し、ポスター展示、インドネシアの文化体験、ホールにてガムランの演奏と舞台上に星空を投影したプラネタリウムなど、今までにないイベントを実施し好評を得た。鶴川ショートムービーコンテストでは過去最大の108作品の応募があり、6回目を迎え、ますます認知度が高まったことがうかがえた。</p> <p>他、地域の保育園10園に声掛けし「新春子ども絵画展」を例年どおり開催。12月から約2ヶ月間、園児の作品約270点を3階に展示した。また地域の文化団体による様々な展示も交流スペースで行われ、日頃の成果の発表の場の提供・支援として、貢献できた。</p>
-------------------------------	--

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査公演数】 25公演          【配布枚数】 3,028枚          【回収枚数】 1,378枚          【回収率】 45.5%          【調査方法】公演時に来場者へアンケート用紙を配布・回収</p>
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価
利用者満足度 (事業満足度アンケート) ※公演内容について満足と回答した割合(分母に未記入を含む)	A: 90%以上 B: 70%~90%未満 C: 70%未満	100%	77.4%	B

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	90	93	95	98	100
実績値	88.5	87.3	86.7	70.5	77.4

指標2	評価基準	目標	結果	評価
施設利用率 (貸出諸室平均)	A: 70%以上 B: 50%~70%未満 C: 50%未満	75%	60.3%	B

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	65	70	70	72	75
実績値	61.2	63.7	63.9	43.2	60.3

指標3	評価基準	目標	結果	評価
事業収支比率 (入場料収入額+市以外からの助成金収入額)/事業支出額	A: 90%以上 B: 70%~90%未満 C: 70%未満	103%	134.4%	A

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2017	2018	2019	2020	2021
目標値	103	103	103	103	103
実績値	99.0	99.8	101.0	74.9	134.4

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者満足度は目標には達しなかったが、2020年度と比較して向上した。施設利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るなかでもおおむね感染症拡大前の実績まで回復した。事業収支比率は目標を上回った。いずれも要求水準以上となったため総合評価はBとする。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2021年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者の公平な選考	施設の貸出の抽選会を毎月実施している。	抽選会を毎月実施していることを抽選受付簿にて確認した。(新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館中の抽選会は再開後に実施)	適
	広報活動	広範に独自の広報活動を実施している。	HP、コンサートガイド、市内外タウン誌、市内掲示板、横断幕等で広く周知していることを掲載記事等で確認した。	適
施設の運営方針・管理方針	設置目的に合致したサービスの提供	舞台運営について、利用関係者との打合せ等を行い、サポートしているか。	舞台スタッフとの打合せや、ホール・諸室見学を実施し、パンフレット等で丁寧な説明に心がけ、円滑な舞台運営に努めていることを記録簿及びヒアリングで確認した。	適
	施設の維持管理	修繕・清掃を適切に行い、日報等で報告している。	業務基準書どおりに清掃や修繕を行っていることを作業日報にて確認した。また、緊急の際は口頭で報告をしていることを月次報告書及びヒアリングにて確認した。	適
	主催・共催事業の実施	年間25事業以上を実施。	主催事業を20事業、共催事業を16事業、合計36事業を実施したことを事業報告書・決算報告書で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報保護	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを現地で確認した。また、マニュアルどおりに運用がされていることをヒアリングにて確認した。	適
	情報公開	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを現地で確認した。また、マニュアルどおりに運用がされていることをヒアリングにて確認した。	適
要望対応	苦情発生抑制の対策	マニュアルを備え、それに沿った運用がなされている。	財団のマニュアルを現場で確認した。また、マニュアルどおりに運用がされていることをヒアリングにて確認した。	適
	意見、苦情の管理	意見、苦情を集約し、共有化している。	意見要望シートが作成され、共有・集約していることをヒアリングにて確認した。	適
危機管理	防災訓練の実施	災害、緊急時に備えたマニュアル・体制を備え、防災訓練を実施している。	マニュアルを備え、年2回の防災訓練を実施していることを訓練報告書にて確認した。(1回目は11月の防災に関するDVD教材の視聴、2回目は2月の各自でPCを使用したeラーニング)	適
	帰宅困難者の受け入れ	帰宅困難者の一時滞在施設としての機能を有する。	帰宅困難者の受け入れについて、基本協定書に記載があり、マニュアルを備えていることを現地で確認した。	適
	各種保険への加入	基本協定書に定めている保険に加入している。	基本協定書で定めた水準を満たす公立文化施設賠償責任保険等に加入していることを証券にて確認した。	適
財務の安全性	資金の管理状況	税理士による適正な経理及び監事による適正な監査報告を行っている。	帳簿類は税理士が3ヶ月に1度確認を行い、決算書は公認会計士である監事が監査報告を行っていることを、事業報告書・決算報告書及びヒアリングにて確認した。	適
	団体の財務状況	借入金がない。	借入金がないことを事業報告書・決算報告書の貸借対照表にて確認した。	適
人的安定性	職員研修	財団経営・マネジメントの研修に職員を参加させている。	財団が策定した人材育成基本方針に基づき、経理、財団経営、事業・施設運営、マネジメントの各種研修に各職員が参加していることを受講記録簿にて確認した。	適
	職員の配置	業務に必要な有資格者等を配置している。	基本協定書に定める有資格者を配置していることを、資格証(写)にて確認した。	適
管理経費の縮減	経費縮減の実施(施設管理)	指定管理者が施設管理において縮減に対する工夫をしている。	こまめな消灯・節水・温度管理を行うとともに、共同事業体としての施設管理により業務の効率化が図られていることをヒアリングにて確認した。	適
	経費縮減の実施(事業管理)	指定管理者が事業管理において縮減に対する工夫をしている。	事務作業のシルバー人材センターへの外注や、事業協力会の活用等により、経費削減の取組を行っていることをヒアリングにて確認した。	適

【評価対象年度 2021年度】

地域貢献	市民参加型事業等の実施	年間10事業以上を実施。	感染防止対策を徹底した上で13事業を実施したことを事業報告書・決算報告書にて確認した。	適
	地域社会活動等への参加	地域・市内の関係機関の事業への参加、協力が年間2回以上行われている。	2回以上実施したことを事業報告書・決算報告書で確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年3月4日に会計・経理モニタリングを実施し、会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」であった。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年3月4日に労働条件モニタリングを実施し、労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」であった。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	全項目について、要求水準を満たしていることを、現場調査、日報、事業報告書、証券等の書類とヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2017		2018		2019		2020		2021	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	147,500	147,500	147,500	147,500	148,500	148,500	149,150	149,150	148,200	148,200
	利用料金	34,000	30,755	34,000	33,116	34,000	29,491	15,330	14,132	19,759	26,184
	事業収入	19,600	18,580	10,700	9,394	10,700	17,996	1,070	424	2,529	4,556
	その他	2,530	4,176	2,530	4,121	2,530	3,798	12,980	9,550	3,458	7,817
	計	203,630	201,011	194,730	194,131	195,730	199,785	178,530	173,256	173,946	186,757
支出	人件費	58,880	51,035	61,275	52,375	58,872	49,072	58,957	48,234	44,753	40,558
	施設管理運営費	122,140	122,468	117,903	124,453	120,775	133,427	122,795	119,424	121,377	132,691
	事業経費	15,770	16,232	12,299	8,778	12,830	16,657	2,470	651	3,463	6,947
	その他	6,840	5,252	3,253	4,800	3,253	6,228	3,334	4,935	4,353	7,413
	計	203,630	194,987	194,730	190,406	195,730	205,384	187,556	173,244	173,946	187,609
総計(収入-支出)		0	6,024	0	3,725	0	-5,599	-9,026	12	0	-852

町田市指定管理者事業継続支援金(2021年度) 4,488千円

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2017	2018	2019	2020	2021
経常利益率	0.1	0.5	-2.8	-0.2	2.2
負債比率	106.2	119.2	142.3	102.8	77.4

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	(1) 収支の状況については、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中でも、利用料金収入増加や国の支援金・補助金の積極的な獲得により、赤字幅を抑えることができた。 (2) 経常利益率及び負債比率は2020年度より改善されており、施設を安定的に運営している。